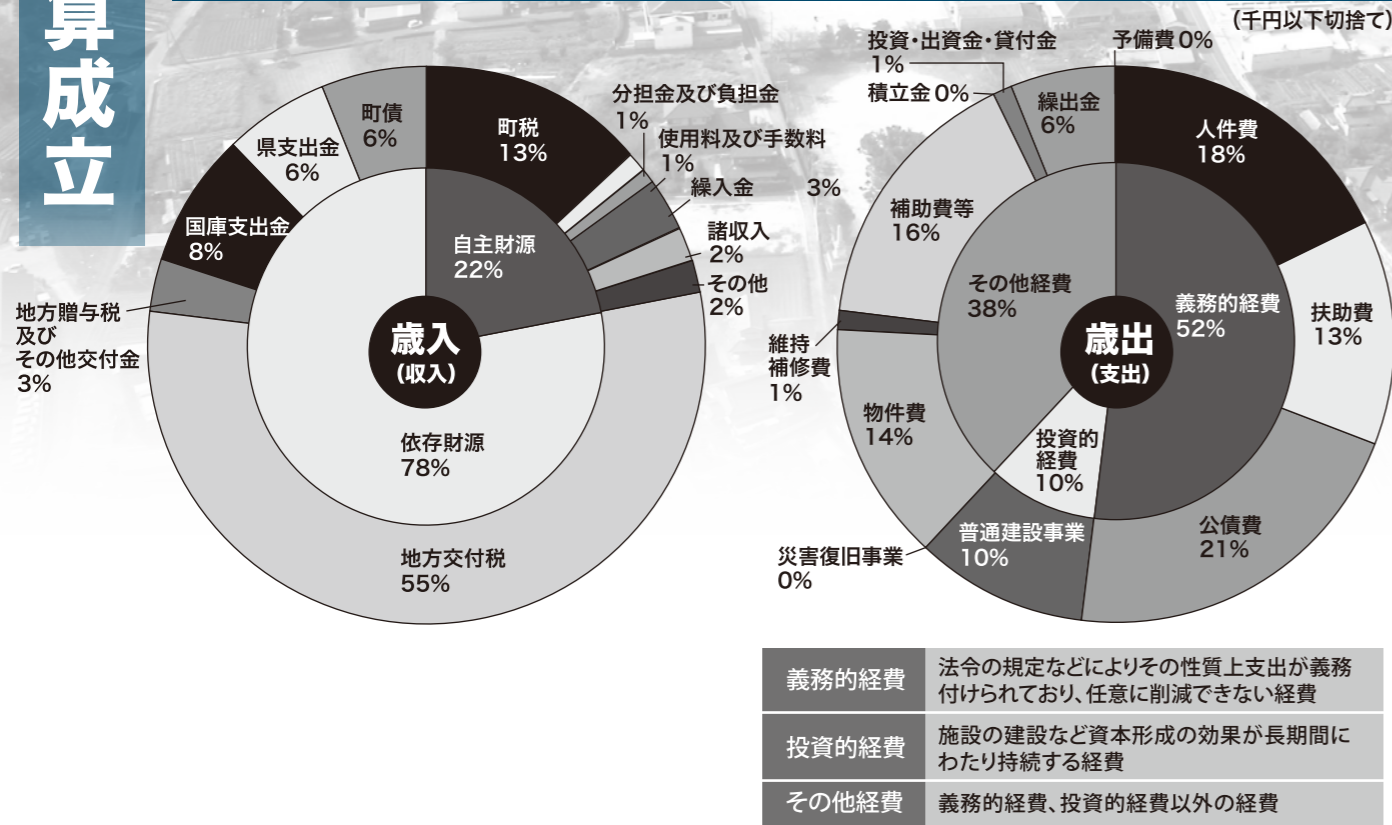


24 年度の事業の目玉

年度予算成立

宅地分譲 = 人口増に議論白熱

平成24年度一般会計予算(44億3800万円)の割合



平成24年第1回定例会(3月議会)を3月6日から16日までの会期で開きました。
 今回は、平成24年度予算を中心に、町長より提出された報告1件、条例3件、予算14件、その他4件、計22件の議案を慎重に審議しすべて原案どおり可決しました。
 なお、議員提出の発議(2件)は、1件を採択しました。

一般会計予算については、前年度対比微増の44億3800万円となりました。歳入については、年少扶養控除廃止、たばこ税改定による町税の微増はあるものの長期不況により増収は見込めず、依然として国・県などに頼る依存財源(78%)で成り立っています。

歳出では、引き続き厳しい行財政運営が続く中、少子高齢化対策・過疎振興対策として、築上東校跡地の宅地化・不妊治療助成・病児保育等を新たに予算計上し、有田地区生活用水供給施設整備を進め、都市間交流拠点として交流人口を増やし、住みたい上毛を目指した予算編成です。なお、追加議案として副町長、奥野勝利氏を再任しました。

平成24年度 一般会計予算

討論の末
10対1で

可決

賛成
町独自の政策予算が
組み込まれている

各分野において、新規・継続事業とも町独自の政策が予算に組み込まれている。定住環境、学力向上等の次世代を担う子ども達に大きな力になる予算なので賛成します。

反対
民間に丸投げで
公的責任の低下

本来行政が果たさなければならない事業を民間に丸投げしている。給食調理業務を業者にやらせるのは好ましくないので反対します。

地方債残高(町の借金)

平成23年度末見込

地方道・河川債	3億5532万円
地域総合整備債	4億4932万円
過疎対策事業債	7億9914万円
合併特例事業債	18億8160万円
上水道出資債	1億3089万円
臨時財政対策債	22億5338万円
下水道事業費(特会分)	4億2108万円
簡易水道事業債(特会分)	4億8311万円
その他債	5億2600万円
合計	72億9988万円

町民一人あたりの借金 約90万円

※前年度から減った額 9万円

基金・積立金残高(町の貯金)

平成23年度末見込

財政調整基金	12億1994万円
減債基金	24億5201万円
公共施設整備基金	12億5541万円
地域福祉基金	4億1408万円
矢方池改修基金	239万円
中山間ふるさと・水と土保全基金	2066万円
まちづくり基金	3億19万円
東九州自動車道推進基金	3億364万円
地域振興基金	10億円
住民生活に光をそそぐ基金	230万円
農業集落排水事業整備基金	906万円
奨学資金基金	5072万円
国保支払準備基金	8619万円

合計 71億1663万円

町民一人あたりの貯金 約88万円

※前年度から増えた額 13万円

会計名	予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	44億3800万円	0.4%	賛成10、反対1で可決
国民健康保険	10億8243万円	9.5%	賛成10、反対1で可決
後期高齢者医療	1億3252万円	2.4%	賛成10、反対1で可決
農業集落排水	5826万円	0.2%	全員賛成で可決
簡易水道	9397万円	17.2%	全員賛成で可決
奨学資金	827万円	2.1%	全員賛成で可決
住宅新築資金	7万円	△84.5%	全員賛成で可決
合計	58億1356万円	2.2%	

平成24年度

町の運営費と
財政事情